

## 新庁舎落成移転

沖縄県水産試験場は戦後数年間那覇市泊北岸にあって、研究・指導業務が行なわれてきた。しかし、急速な都市化により、研究環境が悪化し、円滑な業務の遂行が困難になった。幸い昭和47、48年の2ヶ年にわたって、総工費7千8百万円（国庫補助 $\frac{1}{2}$ ）で本館314坪、漁具倉庫40坪を糸満の埋立地に新築することができた。昭和49年8月28日に関係者多数の列席を得て落成式を挙行政した。

## 図南丸竣工・就行

昭和35年建造の旧図南丸は船体・諸施設々備の老朽化に伴い調査機能が著しく低下し、そのため、代船建造は昭和46年来の本県の大きな懸案になっていた。幸い昭和48年6月議会で建造設計費を、9月議会で建造費233百万円を、更に49年2月議会で1億円の上のせ補正を計上承認された。漁船協会の設計監督の下に、三保造船において、S49年9月25日起工、12月14日進水、50年1月31日引渡式を終え50年2月12日糸満港内において関係者多数の列席の下に盛大なる竣工祝賀式を挙行政した。